

事務事業名	観光情報収集事務					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
施策名	計画 24	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成				所属係	商工振興班	課長名	財津幸泰
基本事業名	体系 92	文化財に触れる機会の提供				担当者名	中嶋 繁之	電話番号 (内線)	248-1115 1253
予算科目	会計 01	款 07	項 01	目 02	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 18 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容)観光案内、情報提供事業。 (業務の内容)季節ごとに近隣公園の記録および情報の収集。 市内外の住民やメディアからの観光情報の問い合わせに対する情報の提供。 各種地域イベントの情報収集。 インターネットを利用した情報収受及び発信。 (予算の内訳)賃金、普通旅費、消耗品費、切手代、特別旅費。						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	
							人件費計 (B)	0	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

・季節ごとに近隣公園(妙泉寺、弁天、飯高山、竹迫城跡等→公園緑地係)の記録
 ・市内、市外よりの観光情報問合せに対する情報の提供

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市内外を問わずメディア

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

合志市民、市民以外を問わず、より多くの人々の行き来ができるようにする

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

多くの文化財を知り触れることができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 観光情報問合せ数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 新聞、テレビ、ラジオ等への合志市の露出数	回
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 合志市への観光客数	人
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 合志市の歴史・伝統・文化に触れている市民の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			583	407	21	21	21
			事業費計 (A)	千円	0	0	583	407	21	21	21
	人件費		正規職員従事人数	人			5	5	5	5	5
			延べ業務時間	時間			960	960	960	960	960
			人件費計 (B)	千円	0	0	3,811	3,811	3,811	3,811	3,811
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	4,394	4,218	3,832	3,832	3,832
活動指標	アイウ	ア 回			52	55	55	55	55		
		イ									
		ウ									
対象指標	アイウ	ア 回			10	15	15	15	15		
		イ									
		ウ									
成果指標	アイウ	ア 人			1,292,913	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000		
		イ									
		ウ									
上位成果指標	アイウ	ア %									
		イ									
		ウ									

合志市

事務事業名	観光情報収集事務	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
S38観光基本法の制定に伴い市町村での取り組みが始まった。H18観光基本法改正
H19. 1. 1観光立国推進基本法施行

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
H18観光基本法が全部改正された。
新幹線くまもと創りプロジェクトが地域振興局単位で計画、実施されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
商工振興課全体で観光情報についてのアンテナを張っているという評価がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 合志市の情報を発信することにより、合志市内への観光客の呼び込みを行い、さらに合志市のPRに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 全市民が対象であり、情報収集し発信することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 市内外を問わず、情報発信を行い、広く合志市のPRになるため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 広域的な観光協議会や観光連盟等の設立により向上の可能性あり。 国際的な情報発信の検討により、外国人の観光客増を見込む。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 観光の形態が変わってきているので、合志市のPRのためにも情報の収集発信は必要である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費なし。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 広域的な観光協議会や観光連盟等の設立により削減の可能性あり。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 不特定多数の人にも利益をもたらすため、公平・公正である。

合志市

事務事業名	観光情報収集事務	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

広域的な観光協議会や観光連盟等の設立により向上の可能性あり。
国際的な情報発信の検討により、外国人の観光客増を見込む。
→ 広域的な観光協議会や観光連盟等の設立により削減の可能性あり。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

新幹線くまもとづくりプロジェクト協議会を通して情報交換を図っていきたい。
外国人観光連盟との協力により、海外への情報発信を図っていきたい。

(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

外国人向け観光サイトの開設。担当できる人材の確保(ボランティア団体等と連携)

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項